

評価シート 様式

取組名	長寿の国 かがしま発「平成版 IT湯治」～健康な私を見つけ、もっと元気な私になる旅～		
実施団体名	鹿児島県健康保養地域活性化協議会	対象地域	鹿児島県指宿市
(代表団体名)	株式会社指宿ロイヤルホテル	推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかつたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	長寿の国 かがしま発「平成版 IT湯治」～健康な私を見つけ、もっと元気な私になる旅～		
実施団体名	鹿児島県健康保養地域活性化協議会	対象地域	鹿児島県指宿市
(代表団体名)	株式会社指宿ロイヤルホテル	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	日本の伝統的温泉保養「湯治」にIT技術を導入し、健康に関する情報提供サービスによって新たな観光分野を開発し、観光振興をはかろうとする全国的にも先導性・モデル性の高い事業である。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、温泉を利用した健康保養にIT技術を導入し、新たな観光分野を開発しようとする取組であり、温泉保養地における新たなビジネスモデルを構築しようとする点が高く評価できる。今後は、以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降については、本事業が医療と健康保養のどのようなレベル・位置付けを指向するかを明確にした上で、来訪者にどのような情報を加工して提供すべきかの検討・実証に重点を置いて取組を行うべきである。特に、来訪者へ提供する情報の内容については、医療の専門家等の助言も踏まえて、適正化を図ることが不可欠である。
	個別の取組みについては、本格展開においても使用する機器・ソフトウェアの製造に関しては、来訪者が旅行・宿泊代金の一部として負担するなどの自立的取組で行うべきである。観光企画の立案、セミナー等の広報活動については、平成IT湯治の観光商品化、販売・運営体制の構築、全国的な広報方策等に重点化をはかって取組みを行うべきである。